

留学科/海外大学3年次編入コース

●大学準備科目

科目名			
NTG：ノートテイキング			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	KIFL 12 単位/ CSUF 0 単位		英語
科目のねらい			
学生が講義の内容の主旨を理解し、内容を自分の言葉で言い換える能力を持つようになる。大学レベルの講義を理解する力と効果的なノートの取り方を身につける。			
科目内容			
教材として、実際に大学で使用された講義を抜粋して使用する。授業の初めにその日の議題を理解するのに必要な単語についての説明とディスカッションに続き①担当教員が講義のトランスクリプトをゆっくりした調子で読み上げるのを聞き、空所補充練習をする。②テープに吹き込んである同じ内容の講義を理解できるようになるまで繰り返し聞く。③担当教員が言葉や言い回し方を換えて話すのを聞く。			
成績評価	テキスト	備考	
各週毎の小テスト、中間試験、期末試験	Dirk Binder, <i>Listening Tasks for Note-taking</i> , RTW.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
RVD：リーディングとボキャブラリーデベロップメント			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	KIFL 8 単位/ CSUF 0 単位		英語
科目のねらい			
英文読解力と語彙力強化			
科目内容			
CSUF 単位認定科目に進むための ESL 必須授業。大学で学ぶにあたって必要なレベルの読解力（速読、要約、テキスト全体の要点を把握できる能力）を養成する。学生は、アメリカの文化や社会に関して学びながら、語彙力を高めていくと共に、議論する力を身に付ける。主な宿題は読解力を確かめる為の作文。LING 6 (Writing) と連動して授業を進める。			
成績評価	テキスト	備考	
各週毎の小テスト、宿題、中間試験、期末試験	Cheryl Benz, <i>College Writing</i> , Cengage Learning	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
TFL 1～5：TOEFL 準備講座 1～5			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	KIFL 23 単位/ CSUF 0 単位		英語
科目のねらい			
CSUF3年次編入条件の1つであるTOEFL (ITP) スコア485点以上取得を目的とする集中講座。			
科目内容			
(ペーパーテスト形式で行われる) IPTOEFL テストで、CSUF 編入に必要な 485 点以上取得を目標に授業が行われる。学生は TOEFL 試験の全側面 (リスニング、文法、語彙、リーディング) を徹底的に学び、練習する。定期的に模擬試験を行い、5 学期のプログラム期間中に最低 8 回、TOEFL (ITP) テストを受ける。			
成績評価	テキスト	備考	
各週毎の小テスト、中間試験、期末試験、毎月一回の模擬試験の結果	Milada Broukal, <i>Heinlein TOEFL Test Assistant: (Listening/ Reading/ Vocabulary)</i> , Heinle & Heinle. Phyllis L. Lim, Mary Kurtin, Laurie Wellman, <i>Grammar Workbook for the TOEFL Exam, 4th ed.</i> , ARCO Thomson Learning. Deborah Phillips, <i>Longman Preparation Course for the TOEFL Test: the Paper Test</i> , Longman.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
GRH 1～5：自習・補習クラス1～5 ガイデッド・リサーチ・アワー			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	KIFL 5単位/ CSUF 0単位		英語・日本語
科目のねらい			
専任講師の指導の下で、コンピューターを利用してのレポート作成や、インターネットでリサーチできる力を身につける。自習・研究・補習時間。また、留学中でも就職への意識を持たせることを目的とした時間を設ける。			
科目内容			
それぞれのCSUF単位認定科目から出される宿題に対するサポート等の為に設けられた授業。宿題に取り組む時間を確保し自分で課題に取り組む訓練をさせる。又、コンピューターを使用し、タイピング及び、インターネットやその他のコンピューターを用いたリサーチの時間を提供することが目的。その他、就職対策として1年次1学期の数時間を利用し、専任講師を招いて日本人としての基本的なマナー、また自分の将来（キャリア）について考える。			
成績評価	テキスト		備考
出席率	なし		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
ORT 1～5：オリエンテーション1～5			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1・2年次	KIFL 8単位/ CSUF 0単位		日本語
科目のねらい			
1年次：アメリカの教育体系について学ぶ。 2年次：CSUF及びその他提携校の教育体系について学ぶ。入学手続き、専攻の決め方やクラススケジュールの組み方から学生寮の申込手続き等、各学校の規則や手続きの方法を学ぶ。			
科目内容			
1年次には、アメリカの教育体系（どのように単位が累積するのか/どのようにGPAが計算されるのか等）について重点的に学ぶ。 2年次には、具体的な進路に基づき、各提携校への手続きの方法、専攻の選択の仕方や受講科目の選択方法等の他、規則や規制について学ぶ。			
成績評価	テキスト		備考
出席、中間試験、期末試験。	『アメリカ留学ガイドブック2010』日米教育委員会 著（アルク） N. Sugiyama, <i>ISP Workbook</i> , RTW.		単位構成はカリキュラム表を参照

● CSUF 単位認定科目

科目名			
LING 6：言語学 6 中級リーディング&ライティング			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次	KIFL 13単位/ CSUF 3単位		英語
科目のねらい			
文法と文章の構成力の上達を図る。大学1年次英語科目受講準備。			
科目内容			
身近な事について簡単なエッセイを作成する事からはじめ、より客観的かつ解説的な学術的な論文・小論文を作成出来るよう、訓練していく。学生が間違えやすい文法や文章構成を踏まえて、教材が選択されている。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、レポート	Blanchard, <i>Ready to Write More</i> , Longman.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
ESL 21 : 英語表現 21 上級オーラルイングリッシュ・プラクティス			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
リスニング能力及び会話能力の向上を図る。			
科目内容			
英語で話をする時に必要な言葉の抑揚、リズム、イントネーションと語彙構築及びリスニングの力の強化訓練。教員及びクラスメートとの会話練習。フォーマルとインフォーマルな会話形式の違いについて学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、授業への参加度合い	Richards, <i>Person to Person Book 2. 3rd edition</i> , oxford University Press.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
ENGL10 : 英語 10 カレッジ・ライティング			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次	KIFL 10 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
宿題や試験で使用する論文・小論文の書き方(技法)を学ぶ。CSUF 一般教養課程 (Foundation Area A2) 科目			
科目内容			
様々なジャンルの文章について学び、かつ実技実践を通して、大学だけでなく実社会で通用する文章力を養う。①各自でトピックを選択→②リサーチ→③起草→④推敲・分析→⑤最終原稿 という、論文の作成行程を学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、宿題	Tunceren, <i>College Writing 4</i> , Cengage Learning.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
MATH 45 : 数学 45 数学基礎			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次3学期	KIFL 6 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
一般教養としての基礎的数学能力を身に付ける。			
科目内容			
大学レベルの代数。数学と社会科学。解析、確率・統計の基礎を扱う。図形、統計、確率、データの分布、概算等を学んでいく。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、毎日の課題。	Barker, <i>Essential Mathematics</i> , Cengage Learning.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
IS 1A : 情報システム 1A ワードプロセッシング			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次1学期	KIFL 4 単位/ CSUF 1 単位		英語
科目のねらい			
キーボード操作マイクロソフトワード操作の習得。			
科目内容			
キーボードタイピングの基本と技術を身に付ける。タイプスピードと正確さを習得する。マイクロソフトワードを用いて文書作成の基本を学ぶ。課題にそって練習。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、プロジェクト成果。	KIFL IT ed., <i>ビジネスソフト・トレーニング</i> , KIFL.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
IS 52/52L : 情報システム 52/52L コンピューター・コンセプト			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次 2・3 学期	KIFL 7 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
MS オフィスアプリケーションソフトの基本操作を学ぶ。			
科目内容			
MS オフィス (ワード、アクセス、エクセル、パワーポイント等) の操作に関する技能を、プレゼンテーションやレポートの作成を通じて学習する。基本的な操作理論とインターネットの安全性及びパソコンを使用する際のエチケットやマナーを学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、課題。	KIFL IT ed., ビジネスソフト・トレーニング, KIFL.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
CSCI 5 : コンピュータ 5 コンピュータ・アプリケーション上級			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2 年次	KIFL 4 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
MS オフィスアプリケーションソフトの応用技能を習得する。			
科目内容			
ワード、アクセス、エクセル、パワーポイントなど MS オフィスソフト操作に関連した技能を学ぶ。学生は習得した技能を、CSUF 単位認定科目に適用し、リサーチやレポートのためにインターネットアプリケーションを使って練習する。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、プロジェクト。	KIFL IT ed., ビジネスソフト・トレーニング, KIFL.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
COMM 3 : コミュニケーション 3 パブリックコミュニケーション基礎			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1 年次 2 学期	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
コミュニケーション理論の基礎を学ぶ。			
科目内容			
コミュニケーション論についての講義や小論文作成。研究論文の検証他、人間の意思伝達 (コミュニケーション) についての、論理、方法、問題解決等について学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、レポート。	John Winward, <i>Fundamentals of Communication</i> , RTW.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
LING 10 : 言語学 10 リングイスティックス基礎			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2 年次 5 学期	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
英語史及び英語の構造と発達など、英語学の基礎を学ぶ。			
科目内容			
対人コミュニケーション諸理論に関する講義、読解、短文ライティング科目。対人関係における言語能力の高め方や、非言語コミュニケーションを含む人間同士のコミュニケーション行動の形式等について講義を聞き、その後ディスカッションに参加する。また、感情、動機、価値観、認識、態度、自己概念の役割を評価する。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、クラスディスカッションへの参加率	Wood, <i>Interpersonal Communication</i> , Cengage Learning.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
PHIL 25 : 哲学 25 論理的推論法			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次4学期	KIFL 5単位/ CSUF 3単位		英語
科目のねらい			
効果的な論議と説得力のある表現法を用いる。論理的推論法を習得する。			
科目内容			
パブリックスピーチやディベートのプレゼンテーションで見られるような、合理的な結論に到達するために用いられる論理的な分析、論証、理由づけ及び証明法などを学ぶ。一連の事実を様々な角度から検証し、その中から物事の真実を見極める目を養う。また、現代社会が直面する主要な問題についての論争を、的確に分析する能力を身につける。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、クラスディスカッションへの参加率。	John Winward, <i>Methods of Reasoning</i> , RTW.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
COMM 7 : コミュニケーション7 パスエージョン			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2年次5学期	KIFL 5単位/ CSUF 3単位		英語
科目のねらい			
人・社会・異文化間における相互理解の方法と技能を、新聞・広告など各種の資料を活用し実践を通して学ぶ。			
科目内容			
論争を解決したり説得者と被説得者両者の立場から意見を組み立てたりするための社会的な道具として、説得について分析・練習する。人間同士、社会、異文化間等の状況で練習することで、説得がどのように機能するかを分析する。日英のマスメディアから題材をとる。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、ディスカッションへの参加	John Winward, <i>Communication 7-Persuasion</i> , RTW.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
GEOG 2 : 地理学2 文化地理学基礎			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次1学期	KIFL 5単位/ CSUF 3単位		英語
科目のねらい			
世界の文化地理学への認識を高める。			
科目内容			
文化・民族構成の起源、人間による自然環境の改変、開拓と土地利用の問題及びパターンを学ぶ。地図と地図帳の使い方を学び、世界中の地域、文化、地政学体系、相互関係などを研究する。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、プロジェクト課題で評価	Hobbs, <i>Fundamentals of World Regional Geography</i> , Cengage Learning.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
ARTH 11 : 芸術史学 11			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1年次1・2学期	KIFL 5単位/ CSUF 3単位		英語
科目のねらい			
中世から現代までの欧米芸術史の学習			
科目内容			
中世から現代の芸術について調査する。特に、欧米のゴシックから超現実主義の絵画に焦点をあてて学ぶ。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、レポート	Susan Binder, <i>Art History Medieval to Modern</i> , RTW.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
HUM 11 : 人文学 11 西洋文明			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1 年次 2 学期	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
1700 年代から現代までの芸術、文学、音楽、哲学の歴史と相互関係を学ぶ。			
科目内容			
近代西洋史に関する講義及び読解。知的、政治的、宗教的な動きや歴史上の出来事が芸術、音楽、建築の発展に及ぼした影響について学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、レポート	Susan Binder, <i>Humanities Workbook</i> , RTW.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
ECON 40 : 経済学 40 ミクロ経済学基礎			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2 年次	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
現代経済学理論と実用経済学の基礎を学ぶ。			
科目内容			
大学レベルの経済学。消費理論、生産理論、所得配分理論を扱う。市場組織の代替形態下での物価決定と資産配分、政府規制を学ぶ。現代理論を理解し日本とアメリカの現状に関して討論する。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、宿題	McEachern, <i>Microeconomics; Principles</i> , Thomson / South-Western.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
WS 10 : 女性学 10 性別による社会的役割論			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2 年次	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
性別による社会的役割などについて学ぶ。			
科目内容			
性別の違いによって社会的役割が形成される。社会的、文化的、経済的、政治的視点から見た性別の違い及び、それらの要因が人格形成や性格に及ぼす影響について学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、プロジェクト	Shiho Hara, <i>Women's Studies Workbook</i> , RTW.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
CFS 38 : 家庭学 38 生涯設計・人生開発論			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
2 年次 5 学期	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
自己認知及び身体的、心理的な成長を学ぶ。			
科目内容			
受胎から死に至る身体的、認知的、社会心理学的発達についての諸理論、研究、応用例、基本原則などについて勉強する。行動、性的特質、栄養、健康、ストレス、周囲との関係、死や死に至る過程が意味すること等を学ぶ。			
成績評価	テキスト	備考	
中間試験、期末試験、プロジェクト課題	Papalia / Olds, <i>Human Development 10thed.</i> , McGraw Hill.	単位構成はカリキュラム表を参照	

科目名			
HIST 11 : 歴史学 11 アメリカ史 (1865 年以前)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1 年次 1・2 学期	KIFL 5 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
1865 年以降のアメリカ史を概観する。			
科目内容			
南北戦争以降のアメリカ史、アメリカが世界的影響力をもつに至った理由、及びアメリカが現代社会の諸問題に及ぼす影響力に重点を置く。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、レポート	Kevin M. Schultz, <i>HIST Vol. 1</i> , Cengage Learning.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
HIST 12 : 歴史学 12 アメリカ史 (1865 年以降)			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1 年次 3 学期	KIFL 6 単位/ CSUF 3 単位		英語
科目のねらい			
1865 年以前のアメリカ史を概観する。			
科目内容			
1865 年までの建国初期のアメリカ史を学ぶ。連邦政府の成立、植民地時代を含む建国初期の歴史、また、アメリカ社会の発展について扱う。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、レポート	Kevin M. Schultz, <i>HIST Vol. 2</i> , Cengage Learning.		単位構成はカリキュラム表を参照

科目名			
GEOL 1 : 地質学 1 自然災害と地球科学			
履修年次	単位数	単位構成	使用言語
1 年次 2・3 学期	KIFL 6 単位/ CSUF 4 単位		英語
科目のねらい			
自然災害や資源について学ぶ。			
科目内容			
火山噴火、地震予知、洪水、台風などの自然災害や自然現象、発生の仕組みを理解し、人間生活への影響や人間と地球環境の関わりについて、地質学の観点から学ぶ。インターネットによるリサーチや、大学の研究で用いられるビデオなどを教材として使用するほか、実際に自然災害に関する資料を展示した関連施設や博物館なども訪ね、研究レポートを提出する。			
成績評価	テキスト		備考
中間試験、期末試験、小テスト	Wicander/ Moore, <i>Essentials of Geology</i> , Thompson.		単位構成はカリキュラム表を参照